

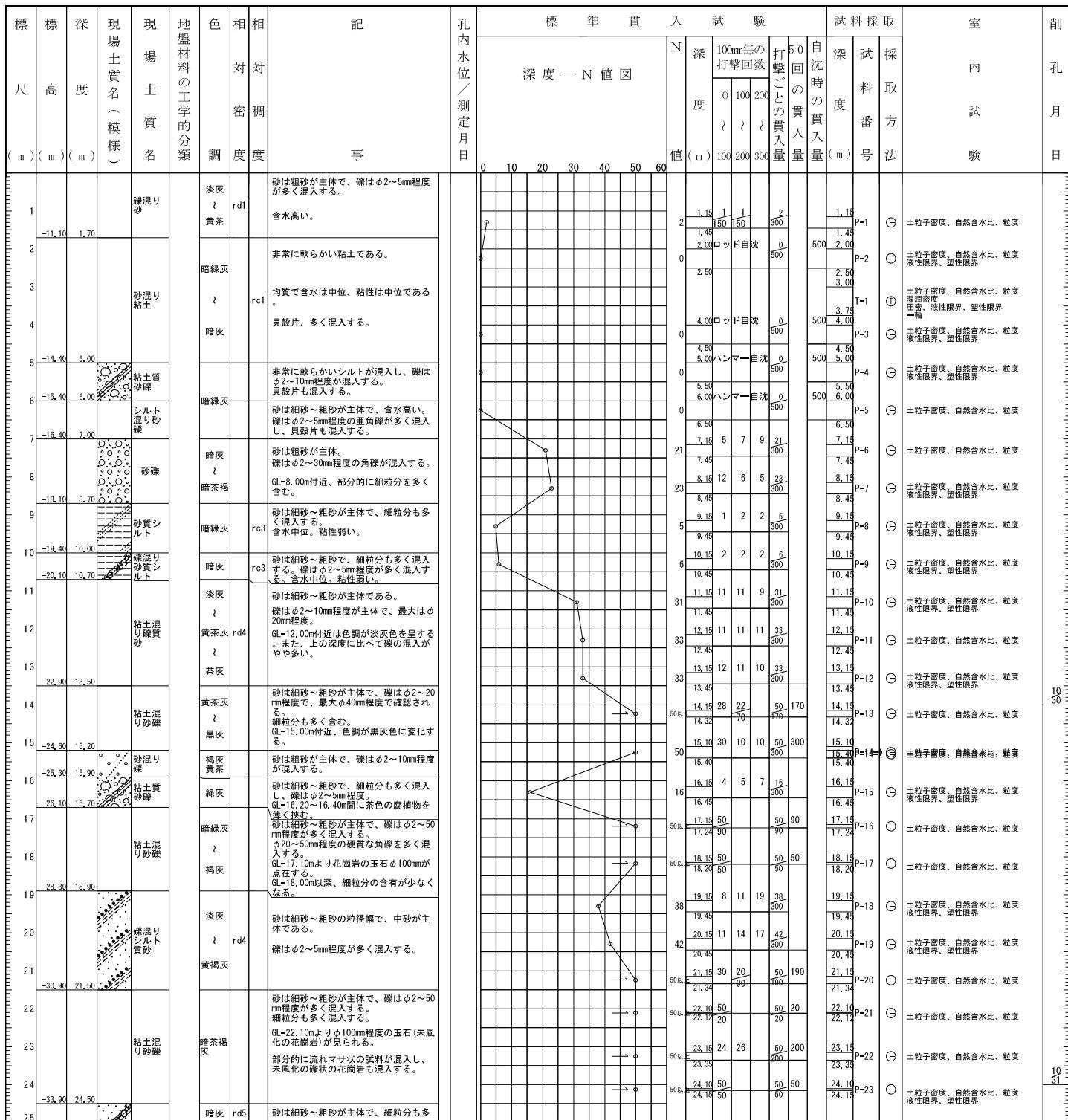
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 地方港湾 大竹港（小方地区）再編計画に係る調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 港湾 構造物基礎

ボーリング名	No.11	調査位置	広島県大竹市小方一丁目地先				北緯	34° 14' 06.9207"
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所				調査期間	令和5年10月28日～ 令和5年11月 1日		東経 132° 13' 32.1097"
調査業者名					主任技師	現場理人	ア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP -9.40m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位 北 0° 西 90° 南 180° 東 90°	地盤勾配 鉛直 直 90°	使用機種 試錐機 エンジン	東邦地下工機D1-B ヤンマーディゼルNFD-10	
総削孔長	31.00m					ポンプ	東邦地下工機BG-3C	



				縞混り 粘土質 砂
26	-35.40	26.00	r d5	
27				粘土混 り砂礫
28				G1-28.00m付近にφ100mm程度の玉石あ り。 マサ状の試料も混入する。
29				かなり風化したマサ状の花崗岩である 。部分的に黒雲母等が確認できる。
30				風化花 崗岩
31	-38.30	26.90		
32				
33	-40.40	31.00		

暗灰	rd5	く混入する。 礫はφ2~50mm程度が多く混入する。
茶褐色		砂は細砂～粗砂が主体で、礫はφ2~50mm程度が多く混入し、最大はφ70mm程度。
黄褐色		G1-28.00m付近にφ100mm程度の玉石あり。 マサ状の試料も混入する。
淡茶灰		かなり風化したマサ状の花崗岩である 。部分的に黒雲母等が確認できる。
淡綠灰		風化花 崗岩

50以 下	25.75 25.37	13	22	15	50	220		25.13 25.37	P-24	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界
50以 下	26.15 26.24	50		50	90			26.15 26.24	P-25	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界
50以 下	27.05 27.09	50		50	40			27.05 27.09	P-26	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度
50以 下	28.00	貫入不 能		50	0						
50以 下	29.15 28.38	15	23	12	50	240		29.15 29.38	P-27	⊕	
50以 下	30.10 30.30	25	25	50	200			30.10 30.30	P-28	⊕	
50以 下	31.10 31.29	23	27	50	190			31.10 31.29	P-29	⊕	